

ことが分かった。濱口常任理事から「現在、470 病院が B 水準以上の申請を行っており、100 か所が認定されている。宿日直許可に関しては、労働基準局とも話をしており、ほぼ問題ないと報告を受けている。もし、何か問題があったら日医に相談してほしい。また、一番心配していた周産期についても現状と同じ形で乗り切れそうと判断している。一番の課題は、『自己研鑽の取り扱い』で、上司からの押し付けにならないように、労使での十分な話し合いと納得性が大切」と報告があった。大分県の「医師の働き方改革が声高に叫ばれる中、過剰なタスクシフトによるメディカルの疲弊とそのことによる労働力不足となることが心配される」というコメントには心を留めていきたいと思った。

先週は、全国医師会勤務医部会連絡協議会が行われ、非常に勉強になったが、今回のように「九州ブロック」という小さな単位だからこそ情報交換や意見交換もしやすく、定期的に開催されることはとても良いと思う。しかし、「組織強化」の課題に関しては、「勤務医部会」だけではなく、女性医師や新規開業をされる若手医師の声も含めた沖縄県医師会の「組織強化委員会」のブロック版があった方がいいし、勤務医部会としての会議であれば、組織強化は喫緊の課題だとしても、それ以外の勤務医の処遇改善であったり、勤務医に次世代医療基盤の在り方について分かりやすく説明する方法等、視野を広げていく必要はあると思った。

※報告書の詳細につきましてはホームページをご参照下さい。

<https://www.okinawa.med.or.jp/medical/kaihou/houkoku/202303-2/>



## お知らせ

### 文書映像データ管理システムについて（ご案内）

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成 23 年 4 月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」（下記 URL 参照）をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局（TEL098-888-0087 担当：宮城・國吉）までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいませますようお願い申し上げます。

#### ○「文書映像データ管理システム」

URL : <https://www.documents.okinawa.med.or.jp/Dshare/header.do?action=login>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

